

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 加藤 重雄
 幹事 小林 英毅
 広報・会報委員長 鈴木 聖三

No. 9 ロータリーに輝きを (LIGHT UP ROTARY)

2014~2015年度 RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

今日の例会

第1516回 平成26年 9月 9日 (火)

講演：『全国に誇れる名古屋のまちづくり』
名古屋市議員 おくむら文洋様

先週の例会

第1515回 平成26年 9月 2日 (火) 晴

講演：『子どもたちの未来を育てよう』
～ひとり親家族への支援～
～別れて暮らす親と子どもの面会交流支援～

NPO 法人 あったかハウス
事務局長 山田修暉様 理事 白田公子様

加藤会長挨拶



先週に引き続きスウェーデンでのお話

午前中はサッカー元東京ヴェルディ、現在横浜FCで活躍の三浦知良さんのお姉さんの案内でストックホルム市内を見学しました。ノーベル賞受賞宮殿等も見学して、昼食は「就学前学校」(スウェーデン

では幼稚園は保育園の一部と考えられているようでこのように言われています)で、子供たちと一緒に昼食を食べました。

野菜と果物がとても多かったことを覚えています。

そしてもう1ヶ所 高齢者と障害者を一緒に運営している施設を見学しました。

保育園での子供たちの遊ぶ遊具に素晴らしいものがあるのを発見 特にスプリングを利かした遊具は日本にはめずらしいものでした。また、障害者の方々が自分で移動される乗り物 高齢者の使用される車いす等も、とても素晴らしいものがありました。30年位前のことですが、とても進んでいました。

そしてこの後、ストックホルム市内のルンド大学への移動、これからの「スウェーデン高齢者福祉について」という題でエババルト教授の講演を聞きました。

一つ目は「施設介護と在宅介護について」でした。一般的に、施設介護の方が費用がかかる様におもわれがちですが、在宅介護を24時間トータルケアをすると施設介護より費用が多くかかる。すなわち重度になると施設介護に移行していかざるを得ない、要は車の両輪のようである。

もうひとつは「認知症の対応用グループホーム」についての話でした。時のストックホルム市長が夏用の別荘として使っていた所を、使用しなくなったからと、高齢者の介護施設に使うて欲しいと申し出がありアルツハイマー症の人達に利用してもらったところ、利用者たちがたいへん落ち着かれ、その人らしい生き方が出来るようになった実例を話されたことを記憶しています。こじんまりした施設で、集団での処遇でなく個別処遇をしていったからです。

観光用の通訳でなく、スウェーデンの高齢者の福祉が良く分かった通訳の方でしたが、日本語でなくスウェーデン語から英語、そして私共の添乗員から日本語で聞い

◆君が代

◆それでこそロータリー

◆ゲスト紹介 NPO 法人 あったかハウス
事務局長 山田 修暉様
理事 白田 公子様
宮本 亜希子様 (牧野さんゲスト)

◆出席報告

会員 41 (37) 名 出席 30名
出席率 81.08%
前々回 8/19 (修正出席率) 86.84%

小林幹事報告

- 1) 11月に開催されますWFF (ワールドフード+ふれ愛フェスタ)のチケット申し込みにつき、地区への報告及び第1次締め切りが9月10日との連絡が来ております。
チケット購入締め切りを9月末とご案内致しましたが、できるだけお早めにお願ひ致します。現在チケット申し込み 9名 です。
- 2) 「ロータリーの友」9月号が届いておりますのでお帰りにお持ち下さい

ていますから時間が3倍かかりました。
この夜夕食は午後8時半くらいになりました。

社会奉仕委員会名古屋市内25RCで、先年度に引き続き本年度も 当クラブ提案のNPO法人「あったかハウス」への支援が決定致しました。

◆講演 『子どもたちの未来を育てよう』
ひとり親家族への支援
別れて暮らす親と子どもの面会交流支援

NPO法人あったかハウス 事務局長 山田 修暉
理事 白田 公子



NPO法人あったかハウスは、両親の離婚のトラブルに巻き込まれた子どもたちの健全な成長を願って、家庭裁判所の元調査官や調停委員らが中心になり、平

成24年に発足しました。

その背景には、およそ3組に1組が離婚する時代となり、そのうちの60%に未成年の子どもがいるという現実があります。平成24年度の人口動態統計をみても、23万5000人を超える未成年が両親の離婚を経験しました。離婚の理由がどのようなものであれ、子どもたちの心は傷つきます。親も生活に追われ、そうした子どもの養育に疲れ、悩むケースは決して珍しくありません。

こうした現実を目の当たりにしている私たちは、まず無料の電話相談から始めました。初年度は、別れた夫婦のつきあい方や子育てについて考える「母親たちの集い」も開きました。一人で子育てをして悪戦苦闘するお母さん、父親の元で暮らす子どもに会えず悩むお母さん…。同じような境遇の人が率直に悩みを吐露する中で、「自分だけではない」と気づき、心を軽くされるケースが相次ぎました。翌年には「父親たちの集い」も開催。父親の立場からの声が寄せられました。

私たちの集まりに参加できる人たちはまだ安定していると言えます。でも、実は来たくても来られない人たちがいっぱいいます。愛知県内の母子支援施設にはメンバーが出向き、出張の悩み相談会を行っています。話を聞いて差し上げるだけで、お母さんたちには癒やしになるようです。本年度からは毎週土曜日に千種区の事務所でも無料の面接相談もスタートさせました。

子どもにとっては、たとえ両親が離婚しようとも父であり、母です。別れて暮らす親に会えるということは、子どもが成長する上で大変重要な機会だと私たちは考えています。ことし4月からは毎月1回、稲沢市のショッピングモール「リーフウォーク稲沢」で、親子の無料面会交流広場も開設しています。概ねお昼時を挟んだ3時間、子どもと別れて暮らす親との交流は、見ていて心温

まるものがあります。毎回3～5ケースの参加があり、中には私たちの力を借りずに面会ができるようになったケースも誕生しています。

とても難しいことですが、両親は離婚するときに子どもの養育監護について話し合い、プランを計画して、協力して責任を果たしていくことが望ましいと思います。

「共同養育」と言っても、アメリカなどでは実際に行われている取り組みですが、日本は単独親権制度でまだまだ馴染みはありません。しかし、新しい時代に、子どもたちの健全な成長を願うとき必要な取り組みで普及させたいと考えています。これに伴ってプランナーの養成講座も始めています。

今年も「母親たちの集い」や「父親たちの集い」をはじめ、さまざまな事業を計画しています。会員の会費が主な収入源という、なかなか厳しい状況ですが、人知れず傷つき、苦しむ子どもや親のために、会員一同精いっぱい活動を進めていきたいと思っています。

ニコボックス

小山 雅弘

9月10月例会の進行役を務めます
皆様のご協力よろしくお願い致します

鍋野 可幸

7・8・9月がニコボックスの当番です
特に9・10月は 私がニコボックスの報告当番です。皆様宜しくお祈りします
尚9月9日は仕事が入り欠席します

福井 浩道
堀江 宏輝
小林 英毅
松浦 宏紀
水口 純
太田 和孝
鈴木 理之
舎人 経昭
吉田 玄

萩原喜代子
樫尾 富二
牧野登志子
宮尾 紘司
西川 豊長
尾関 武弘
鈴木 聖三
和田 正敏

林 永芳
加藤 重雄
松岡多加倫
三好 親
大口 弘和
佐野 寛
竹内 眞三
渡邊 源市

NPO法人あったかハウス
事務局長 山田 修暉様 理事 白田 公子様
ようこそお越し下さいました。活動報告よろしくお願い致します

山本 眞輔 会員誕生日お祝い

合計71,000円



次回例会 : 平成26年 9月 16日 (火) 3F 錦の間
講演 : 米山奨学学友 于 咏 (ウ エイ) 様